

伊方訴訟の10年

2021. 12. 5

薦田伸夫

1. 2011年12月8日提訴

- (1) 1941年12月8日太平洋戦争開戦
- (2) 1953年12月8日アイゼンハワー大統領のATOMズフォーピース演説
- (3) 裁判で原発の誤りを正す思いを込めて12月8日を選択

2. 提訴までの経緯

- (1) 1963年頃から、四電が原発を計画し、愛媛県津島町と徳島県海南町で住民の反対に遭って失敗したため、第3の候補地伊方町では原発建設という目的を伏せて用地取得を先行
- (2) 1969年7月8日、新愛媛新聞(斉間満さんが駆け出しの記者)の記事で表面化
- (3) 1972年11月29日伊方1号炉設置許可
- (4) 1973年8月27日原告35名が松山地裁に1号炉の許可取消訴訟提訴
- (5) 1977年3月30日伊方2号炉設置(変更)許可
- (6) 1978年4月25日1号炉松山地裁判決
- (7) 1978年6月9日原告21名が2号炉の許可取消訴訟提訴
- (8) 1984年12月14日1号炉高松高裁判決
- (9) 1986年5月26日伊方3号炉設置(変更)許可
- (10) 1992年10月29日1号炉最高裁判決
- (11) 2000年12月15日松山地裁2号炉判決
- (12) 日弁連公害対策環境保全委員会・原子力部会

① 労働者被曝

- ② 放射性廃棄物(液体, 気体)の放出(セラフィールド(旧ウインズケール))
- ③ 放射性廃棄物の最終処分(フォルスマルク, ゴアレーベン)
- ④ 事故(スリーマイル, チェルノブイリ, 美浜2号炉)
- ⑤ 人権侵害, 環境汚染, 倫理違反の技術
- ⑥ 核兵器保有目的(再処理, ドイツ)

(13) 2011年3月11日福島原発事故

- 3. 5次にわたる提訴, 原告1419名(1万円負担)
- 4. 福島原発事故による裁判官の認識の変化に期待
 - (1) 事故は起きないだろう?
 - (2) 原発を止めると電気が止まる?
- 5. 最高裁の原発人事
 - (1) 福井地裁
 - (2) 福岡高裁宮崎支部
 - (3) 松山地裁
- 6. 3・11以降の裁判の状況
- 7. 松山地裁での現状
- 8. 河合弁護士の紹介
 - (1) ブル弁
 - (2) 残留孤児の救援
 - (3) 脱原発弁護団全国連絡会
 - (4) 「逆襲弁護士河合弘之」(大下英治・祥伝社文庫)